



とちぎ農産物マーケティング協会 月刊情報



第46回通常総会を開催



6月30日(月)栃木県JAビルにおいて、第46回通常総会を開催しました。

会員49名が出席し、令和6年度事業報告、財務諸表、役員の選任について審議が行われ、原案どおり承認されました。

議事終了後には、令和7年度“とちぎフレッシュメイト”を皆様に紹介しました。

これからも当協会は、皆様方のご理解とご支援を賜りながら国や県の施策等に十分対応し、また協会独自の取組を行うなど、昨年度以上に県産農産物の生産振興とブランド向上に努めて参ります。



令和7年度とちぎフレッシュメイト 知事及び関係機関表敬訪問



6月18日(水)、令和7年度とちぎフレッシュメイトは栃木県福田富一知事を表敬訪問し、「国内だけではなく、農産物プラスアルファで栃木の魅力を海外でもPRしてほしい。」と激励をいただきました。

フレッシュメイト3名からは今が旬のJAはが野産「芳熟めろん」を贈呈し、「栃木県産農産物を県内外の消費者の方々に笑顔で伝えていきます。」と、意気込みを伝えました。また、各メディアでは今後の抱負や活動予定などの質問に答えました。

とちぎフレッシュメイトは、栃木県産農産物のイメージアップを図るため、元気に笑顔でPR活動をしていきます。

また、YouTubeでの動画配信や、当協会HPとちぎフレッシュメイト公式サイト等を活用し、栃木県産農産物の美味しさや魅力を全国の皆様にお届けしていきます。

ぜひ、会員の皆様のお役に立てる機会を頂きますようお願いいたします。



栃木県福田知事訪問



栃木県議会池田議長訪問



今シーズンでバスケットボール選手を引退したUTSUNOMIYA BREX村岸選手

私たちは、栃木県産農産物を応援しています☆
ぜひ、とちぎフレッシュメイトをよろしくお願いいたします！！



花咲くとちぎ推進協議会総会の開催

6月9日(月)、花咲くとちぎ推進協議会は、J Aビルで総会を行い、花き生産者・消費者・関係団体等の代表者で構成される23名の委員と事務局7名が出席し、令和6年度事業並びに決算報告、令和7年度事業計画等を協議した結果、承認されました。

令和7年度は、NHKとちぎ630での花き紹介や各展覧会への協賛を行うことに加え、各研究会の活動（飾花展示やPR、視察研修会等）への支援等を引き続き行うことを確認しました。また、今年度開催される第74回関東東海花の展覧会の当番県であることから、従来にも増して、協力していくことを確認しました。



理事長あいさつ



総会の様子

花き部会全体会議を開催

6月9日(月)、当協会花き部会はＪＡビルで全体会議を行い、各研究会長、県・全農及びＪＡ花き担当者、農業振興事務所担当者等32名が出席し、令和6年度の活動報告と令和7年度の事業計画に係る検討を行いました。

会議では、各研究会活動の強化、生産者大会の開催、消費者対策として実施してきたNHK「とちぎ630」での県産花きのPR等について了承が得られました。また、第74回関東東海花の展覧会の当番県であることから、各研究会が積極的にかかわっていくことが確認されました。



部会長あいさつ



全体会議の様子

スプレーマム研究会の現地検討会及び総会を開催

6月12日(木)、当協会花き部会スプレーマム研究会は、真岡地区の生産者ほ場で現地検討会を行い、生産者および関係機関等から44名が参加しました。

日下田氏、大塚氏の2ほ場を見学した後、真岡市農業振興センターで総合検討を行い、年間を通した安定供給の確立に向けて、高温対策や土壌消毒、病害虫への対応、暗期処理、品種選定等について意見交換が行われました。

その後、同会場で総会を行い、まず、代田会長から「最近の単価は安値傾向だが、儲かる農業を实践しよう」と呼びかけがあり、来賓の県生産振興課の後藤課長からは「今年度は関東東海花の展覧会の開催の年なので、会員の皆さんには多くの花を出品してほしい」との挨拶がありました。また、昨年度も好評だった県庁での飾花の継続等が確認されました。



ほ場検討会の様子



総会の様子

りんどう研究会の現地検討会及び総会を開催

6月13日(金)、当協会花き部会りんどう研究会は、宇都宮市の県農業総合研究センターで現地検討会を行い、生産者および関係機関等から29名が参加しました。

ほ場視察後は総合検討を行い、はじめに全農とちぎの担当者から出荷の状況や品質について、次に各支部の担当者から生産者の動向や生育状況について報告がありました。また、農研センターの職員から「るりおとめ」の後継品種の特徴について説明があり、さまざまな課題等について意見交換・情報共有を行いました。

その後総会を行い、福田会長の留任、花センターでのりんどう展の開催や県外における先進地視察研修会の実施について承認されました。



ほ場検討会の様子



総会の様子



第42回栃木県肉用牛総合共進会説明会を開催

6月12日(木)、当協会はJ Aビルにおいて、栃木県における肉用牛の経済能力の向上、斉一化を推進するとともに、栃木県産肉牛「とちぎ和牛」の声価を高め、更なる肉用牛経営の安定化を目指し、第42回栃木県肉用牛総合共進会の説明会を開催しました。

今回は、肥育の部65頭（黒毛和種45頭、交雑種20頭）、種牛の部は生産農家49頭、高校生の部6頭の出品に向け、関係機関やJ Aに依頼しました。

肥育の部は交雑種、黒毛和種ともに11月28日、種牛の部は11月18日に開催します。



野菜部会全体会議を開催

6月18日(水)、当協会野菜部会は、JAビルにおいて全体会議を開催し、各地域の野菜関係部会長及びJA担当者・関係機関・団体など28名が出席しました。

全体会議では、令和6年度の活動報告及び令和7年度の事業計画を協議し、承認されました。

また役員改選を行い、新たにJAうつのみやなす専門部の藤沼孝一氏が部会長に就任しました。

当協会としては、野菜生産の維持・拡大、技術の高位平準化を支援するほか、メニューフェア等の開催やSNSの活用を通し、県産野菜のPRに取り組んでまいります。



かんぴょう現地検討会を開催



6月24日(火)、当協会特産部会かんぴょう専門部及びJAうつのみや干瓢専門部は、南河内地区の2生産者ほ場で現地検討会を行い、生産者・JA・関係機関等16名が参加しました。

かんぴょうが実をつけ収穫時期を迎えた南河内地区の野口氏・直井氏のほ場を見学し、生育状況等について意見交換を行いました。

見学後の総合検討会では、県農政部経営技術課後藤副主幹から、土壌分析の必要性や排水対策の重要性、病害虫防除などについて説明がありました。



令和7年度果樹部会なし専門部研究部研修会を開催

6月30日(月)、栃木県JAビルにおいて、中堅・若手の梨生産者や関係者などを対象に、近年、課題となっている果樹カメムシ類対策や結実対策などについて、現状と効果的な技術対策に関する理解を深めることを目的として、「果樹部会なし専門部研究部研修会」を開催しました。県内各地から生産者・関係機関担当者など約60名に参加いただきました。

研修会では、県農政部から果樹におけるカメムシ類防除対策や夏季の栽培管理について、県内外の状況や効果的な対策等を解説いただきました。また、栃木県養蜂組合から結実対策に係るミツバチの飼養管理について、具体例を交えながらポイントを説明いただきました。

暑い中での開催となりましたが、参加者は説明に熱心に聴き入っており、有意義な研修会となりました。



とちぎの花でスマイルアップ in NHK（6月分）

6月は、大輪でフリルのある八重咲の華やかな品種のトルコギキョウ、初夏の季節、濃い青紫がとても涼しげで美しいりんどう、くっきりした花形で存在感があり、真夏の庭に元気いっぱい咲く多年草のエキナセア、白とピンクのコントラストが美しいバラ、4品目の県産花きを紹介しました。

◇ NHK総合テレビ 毎週金曜日 「とちぎ630」(18:30~19:00)



6/6 トルコギキョウ
一鐵 創氏（足利市）



6/13 りんどう
高橋 琉奈氏（さくら市）



6/20 エキナセア
光豊 豊氏（真岡市）



6/27 バラ
田辺 正剛氏（壬生町）

令和7年7月に紹介予定の県産花きは、以下のとおりです。

- 7/ 4（金）りんどう 上都賀地区
- 11（金）ハイビスカス 河内地区
- 18（金）高校生(宇都宮短期大学付属高等学校)
によるフラワーアレンジメント 那須地区
- 25（金）バラ

7月の予定

1日(火)～2日(水)	食研博in宇都宮2025（PR参加）	（市内）
11日(金)	スマート農業団地セミナー	（市内）
16日(水)	いちご生産連絡協議会総会	（市内）
24日(木)	第15回トマトグランプリ表彰式	（市内）
29日(火)	県産農産物輸出促進会議	（市内）
	栃木県花き生産者大会	（JAビル）

一般団法人 とちぎ農産物マーケティング協会 （令和7年6月発行）
TEL: 028-616-8787 FAX: 028-616-8715
<http://www.tochigipower.com/> 「カラダにとちぎ」で検索